

協議会テーマ 【1】指導と評価の一体化について

このシートは「協議会1」において記入します。よって、事前に記入する必要はありません。日頃の「指導と評価の一体化」に関わる自らの実践について振り返り、共有したいこと、改善したいこと、一緒に考えたいこと等を考えておいていただきますようよろしくお願いいたします。

〔題材名〕

1 領域や分野の設定、指導事項の選択

(1) 題材を構成している教材名と、その分野や領域 (例) Let's create! 【創作】 荒城の月【歌唱】

(2) (1)のうち、1つの教材について考えます。

その教材で扱う指導事項を適切に選択し、○をつける。

		知識	技能	思考・判断・表現
A 表現	(1) 歌唱	イ (ア) (イ)	ウ (ア) (イ)	ア
	(2) 器楽	イ (ア) (イ)	ウ (ア) (イ)	ア
	(3) 創作	イ (ア) (イ)	ウ	ア
B	鑑賞	イ (ア) (イ) (ウ)		ア (ア) (イ) (ウ)

2 生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素 (○をうつ)

音色 リズム 速度 旋律 テクスチャ 強弱 形式 構成 (詳細 p116)

3 1(2)で○をうった指導事項のうち、「1つの事項」について、以下のことを考える。

① 生徒の学びの姿・・・おおむね満足できる状況 (B)

② 具体的な学習活動や指導

③ よさ・改善点・他の先生方に聞きたいこと

中学校音楽科における「内容のまとめりごとの評価規準（例）」

I 第1学年

1 第1学年の目標と評価の観点及びその趣旨

	(1)	(2)	(3)
目標	曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。	音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

(中学校学習指導要領 P. 99)

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

(改善等通知 別紙4 P. 15)

II 第2学年及び第3学年

1 第2学年及び第3学年の目標と評価の観点及びその趣旨

	(1)	(2)	(3)
目標	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。	曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

(中学校学習指導要領 P. 101)

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

(改善等通知 別紙4 P. 15)

協議会テーマ【2】 ICTを活用した授業実践について

このシートは「協議会2」において必要に応じてメモ等をしていただくものです。よって、事前に記入する必要はありません。

日頃のICTを活用した自らの授業実践について、協議会の中でお話いただく内容を考えておいていただきますよう、お願いいたします。

交流メモ

交流より自身の実践に取り入れられそうなこと。